

県立図書館では、人と人との絆を深め、感動を味わい、自分を見つめる大切な一冊を「宝本(たからぼん)」と呼んでいます

あなたの **宝本**

見つけてみませんか。

ふれあいながら読み、

共に過ごす時間をつくることで

- ・親子で夢中になれる時間を過ごせたら・・・
- ・親子で感じたことを語り合えたら・・・
- ・子どもが繰り返し読んでほしいと言ったら・・・



宝本
見つけたよ。

エピソード

「ぎゅっ」

ジェズ オールバラ 作/絵 徳間書店

◆私が小さなころ、毎日のように母に持って行って読んでもらっていたそうです。まだしゃべれなかった私と母は、本を読んだ後、ハグをしていました。二人の大切なコミュニケーションだったと思います。今は、三年生になり、たまにケンカもします。その時は何も言わずにこの本を出して、いっしょに読んでぎゅっします。今でもわたしと母のコミュニケーションができる、すなおになれる本です。

(始良市 小学生)



楽しみながら読み、

感動することで

- ・主人公になりきって、夢中で読める本に出会えたら・・・
- ・心をゆさぶられる本に出会えたら・・・
- ・びっくりするような新しい知識に出会えたら・・・

じっくりと読み、

自分を見つめることで

- ・自分の生き方を見つめることができたなら・・・
- ・自分の将来に夢や希望を持つことができたなら・・・
- ・ものの見方、感じ方や考え方を深め、人生を豊かにすることができたなら・・・

エピソード

「エルマーのぼうけん」

ルース・スタイルス・ガネット/作 ルース・クリスマン・ガネット/絵
わたなべしげお/訳 福音館書店

◆エルマーは、どうぶつ島へりゅうの子どもを救いにでかけます。どうぶつ島で、エルマーが持ってきたいろいろな道具を使った作戦で、動物たちを相手にしていく場面では、ほくも心臓がドキドキします。でも、エルマーの作戦がうまくいくと、おもわずほくもホッとして、わらってしまいます。この本は、ほくもエルマーといっしょにぼうけんしている気分になります。

(鹿児島市 小学生)



エピソード

「アシュリー : all about Asley」

アシュリー・ヘギ/著 フジテレビ出版、扶桑社

◆私が勇気づけられた本です。落ち込んでいる時に、母が貸してくれました。この本を読むとアシュリーの前向きに生きようという思いが分かります。読み終わると母と感想を言いました。母も勇気づけられたそうです。アシュリーのその後が気になって調べると亡くなっていました。私はとても悲しい思いをしたことがあり、泣いたこともあります。アシュリーの思いを忘れずに前向きに一生懸命生きようと思いました。私も誰かを勇気づけられる人になりたいです。

(志布志市 中学生)



※ 宝本エピソードは、県内の児童・生徒から県立図書館へ寄せられたものです。

子ども読書の
情報は・・・



「県立図書館、奄美図書館」の
情報は、こちらからどうぞ。



文部科学省「子ども読書の情
報館」は、こちらからどうぞ。

これまでのリーフレットは、県教育委員会のホームページからダウンロードすることができます。

鹿児島県 子ども読書 検索



【お問合せ】 県教育庁社会教育課生涯学習係 TEL:099-286-5336

Eメール: e-shougai@pref.kagoshima.lg.jp